



卒業おめでとう！

3月1日(火)第72期生となる16名が、3年間学んだ校舎から巣立っていきました。答辞は、卒業生を代表して藤原幸花さん(鳥海中出身)が、「新型コロナウイルス感染症拡大によって、この3年間の自分たちを取り巻く環境が大きく変わったなかで、精一杯高校生活を頑張ったと胸を張って卒業したい。」と述べました。卒業生には、幸多かれと願うばかりです。



3力年の学習成果を表彰しました

卒業証書授与式の前日の2月28日(月)に、授賞式があり、学習成績賞4名・特別活動賞(栄光)4名・特別活動賞(功労)4名・伝達表彰(商業科)2名の生徒が表彰を受けました。受賞した生徒は次の通りです。

- 学習成績賞 佐藤彩花・畑山麗・菅野菜・藤原幸花
- 特別活動賞(栄光) 藤原幸花・菅野菜
- 特別活動賞(功労) 菅野菜・真坂俊毅・真坂綾
- 伝達表彰(商業科) 藤原幸花・真坂俊毅・真坂綾
- 秋田県高等学校商業教育研究会 資格取得表彰 菅野菜
- 全日本高等学校長協会 理事長賞 藤原幸花



今までお世話になりました

このたびの定期人事異動で転出される教職員より、地域のみなさまへメッセージをいただいております。新天地でのさらなるご活躍を祈念しております。

佐々木 誠 令和2年4月～2年間（校長・理科 仁賀保高等学校校長として）
この2年間は新型コロナウイルス感染症対策に追われる日々でしたが、地域の方々に助けられ、様々な学習活動ができました。これからも地域活性化に貢献する矢島高校生の応援をよろしくお願いいたします。

工藤 雅文 令和3年4月～1年間（教頭・公民 新屋高等学校教頭として）
昨年4月に「強い縁に導かれて赴任しました」とご挨拶しましたが、わずか1年で異動することになりました。この1年矢島の文化と矢島高校の伝統に魅了されて過ごしました。積雪量には閉口しましたが、鳥海山に向かっての通勤は快適でした。毎日見るのが楽しみだった看板がある日なくなってしまうことは寂しく感じました。時代は変わっていきませんが、この地域と矢島高校のご発展、生徒の皆さんのご活躍を祈念申し上げます。ありがとうございました。

佐藤 幸嗣 令和3年4月～1年間
（事務長・自主防災アドバイザー・横手城南高等学校事務長として）
1年間という短い期間でしたが、生徒・保護者そして地域のみなさまには、大変お世話になりました。もう少し矢島高校のお役に立ちたかった、と少々消化不良気味です、、、笑。本当にありがとうございました。

木村 ふさ子 平成24年4月～10年間
（教諭・理科 秋田県総合教育センター指導主事として）
生徒達と共に様々な活動をする中で、地域の方々には多くのご協力やお声がけをいただき、温かみを感じる事がたくさんありました。このような環境の中で学校生活を送ることができたことを幸せに思っています。10年間大変お世話になりました。矢島高校のさらなる発展と生徒の皆さん一人ひとりの活躍を楽しみにしております。

菅原 一哉 平成24年4月～10年間（教諭・国語 由利高等学校教諭として）
矢島高校に赴任して10年間、様々な生徒やPTAの皆様、地域の方々とは出会い、共に悩み、喜び、成長できたことは自分にとってかけがえのない財産です。地元の高校で働くことができたことに本当に感謝しています。ありがとうございました。

佐藤 雅子 令和2年4月～2年間（非常勤講師・美術・ご退職）
初めての高校勤務でしたが、中学校で教えた中1の生徒たちが高3になって現れ、また出逢うことができました。全く変わらず素直に成長していて、嬉しかったことを思い出しています。矢島高校にきて、矢島高校の、そして矢高生の良さも知ることができました。明るく素直な生徒たちに出逢い、楽しく過ごした2年間でした。深く感謝しています。ありがとうございました。



編集後記

今年度、本校から巣立っていった生徒は16名。これまでの卒業生は、総計10,461名（矢島農業補習学校専修科723名・矢島高等学校9738名）となった。本校で学んだことを、これからの新しい環境の中で十分に生かしてほしいと思うところである。（文）

4月の行事予定(4/15以降)

18日(月)尿検査・心電図検査 20日(水)入退室指導
22日(金)眼科検診 24日(日)PTA総会
26日(火)生徒総会 27日(水)スマホ・ケータイ安全教室
29日(金)昭和の日